

PFIのさらなる活用を求める(概要)

—行政の無駄削減と人に優しい行政サービスの提供に向けて—

2009年11月17日

(社)日本経済団体連合会

1. PFIの意義・目的

(1) 公共サービスの質の向上と社会資本の効率的な整備

- 民間の資金、経営能力、技術等を活用し低コストで質の高い公共サービスを提供

(2) 民間の事業領域の拡大と経済活性化

- PFIによるイノベーションを通じて新産業・新事業の創出が期待

(3) 小さな政府、民主導の経済社会運営の実現

- PFI等により公共サービスの民間開放を進め、公共部門の業務や組織を改革

(4) 地域活性化の実現

- 地域の特性や住民のニーズを反映した行政サービスの実現

今後のPFIの拡大に向けた課題

2. 政治のリーダーシップによるPFI活用の推進

(1) 強力な推進体制の構築

- 政府・与党として、PFIを強力に推進するための組織的な対応が必要

(2) 地方自治体に対する支援

- 地方自治体にノウハウ提供、案件形成、運営等実務支援を行う体制を整備

(3) 箱モノから運営重視型、新たな分野への拡大

- 運営重視型事業のさらなる活用、福祉・防災・環境・省エネ等の新分野に導入

(4) 規制改革・民間開放の推進

- 行政刷新会議における事業仕分けを通じて、PFIの積極的な活用を推進

3. 制度の再構築 ～従来型公共事業からの脱却

(1) 官民の対等なパートナーシップ

- 契約や事業運営で官民が双務的な関係を構築。中立的な紛争裁定の仕組み

(2) 民間の創意工夫が活かせる仕組み

- 多段階選抜・競争的対話方式の本格的な導入

(3) 発注者・事業者間の適正なリスク分担